

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
174	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Epidemiology of alcohol-related liver and pancreatic disease in the United States. 飲酒関連の肝疾患および膵疾患に関する米国での疫学研究	
執筆者	
Yang AL, Vadhavkar S, Singh G, Omary MB.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Arch Intern Med. 2008 Mar 24;168(6):649-56.	
キーワード	
肝疾患、膵疾患、肝硬変、疫学研究、人種差、性差、米国	
要 旨	
<p>目的： 急性アルコール(Alc)性膵炎，慢性 Alc 性膵炎，急性 Alc 性肝炎，肝硬変合併慢性 Alc 性肝炎等の疾患の単独例、合併例の詳細な疫学的報告は少ない。人種別、男女別のこれらの飲酒関連疾患をより良く理解するため、米国におけるこれらの疾患の最近の傾向を解析した。</p> <p>方法： 米国を代表する最大の入院患者データベースを解析した。1988～2004年間に 急性 Alc 性膵炎，慢性 Alc 性膵炎，急性 Alc 性肝炎，肝硬変合併慢性 Alc 性肝炎，急性 Alc 性膵炎+急性 Alc 性肝炎，または慢性 Alc 性膵炎+肝硬変合併慢性 Alc 性肝炎で退院した患者の頻度と疾病死亡率、およびこれら指標の男女差、人種差について解析した。</p> <p>結果： 1988～2004年間の各疾患の10万人当たりの退院数は急性 Alc 性膵炎 49.2；慢性 Alc 性膵炎 8.1；急性 Alc 性肝炎 4.5；肝硬変合併慢性 Alc 性肝炎 13.7；急性 Alc 性膵炎+急性 Alc 性肝炎 1.8；および慢性 Alc 性膵炎+肝硬変合併慢性 Alc 性肝炎 0.32 であった。急性 Alc 性肝炎と肝硬変合併慢性 Alc 性肝炎は男性で多く、急性 Alc 性膵炎と慢性 Alc 性膵炎には大きな性差はなかった。急性 Alc 性膵炎 (63.5/10万人) と慢性 Alc 性膵炎 (11.3/10万人)は他に比べて黒人で極めて高かった[ヨーロッパ系 (急性 Alc 性膵炎 29.6/10万人および 慢性 Alc 性膵炎 5.1/10万人)，ヒスパニック系(同 27.1 および 3.7)，アジア系 (12.8 および 1.4)，アメリカインディアン (15.5 および 2.3)]。これらの疾患が黒人多いことに関しては 1994～2004年にかけて変動は無かった。全疾患で疾病死亡率は徐々に低下していったが、肝硬変合併慢性 Alc 性肝炎では高く(13.6%)、これには人種差はなかった。</p> <p>結論： 米国では急性 Alc 性膵炎が飲酒関連疾患の中で最も多い退院時診断であった。一方肝硬変合併慢性 Alc 性肝炎はもっとも疾病死亡率と男性比が高かった。飲酒関連の膵炎は黒人でもっとも高かった。</p>	